



# 電子処方箋を利用すれば、 高齢者施設等に処方箋を取りに行く時間が削減できます！

## POINT：電子処方箋なら、施設に入居している患者さんの処方箋の応需が便利に！

薬剤師が引換番号で直接電子処方箋管理サービスから処方箋原本を取り出して調剤ができるため、薬局職員が高齢者施設等に処方箋を受け取りに行く時間が削減できます。

【参考】中森全快堂新庄薬局（石川県）

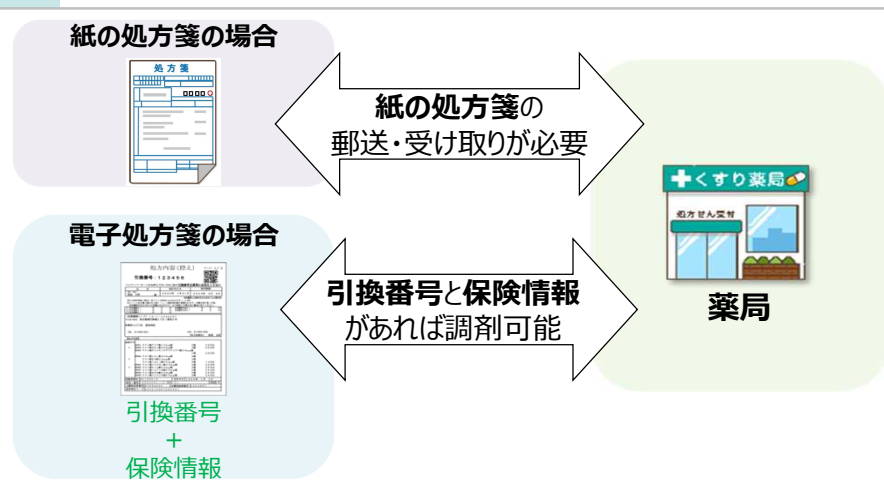
### 【電子処方箋を導入したことによるメリット】

- 電子処方箋のコメント機能を活用することで、医師に伝えたいことを薬剤師が書き込める。
- 医療機関・薬局は、処方情報・調剤情報をすぐに電子処方箋管理サービスに送信することができるので、レセプトの薬剤情報を待たずに医療機関・薬局間での情報共有が容易になる。
- 処方箋のデータを取り込むことでレセプトコンピューターに患者の処方・調剤情報が反映されるため、新患の場合は特に入力の手間削減によるメリットが大きい。

私の薬局では、近くの老人ホームに医師が往診した際の処方箋を受け取ることが多いのですが、電子処方箋なら逐一紙の処方箋の受け渡しがなくとも応需・調剤できるので便利です。

### 【処方箋が電子処方箋で発行されると】

- 紙処方箋の原本の受け渡しが不要なため、高齢者福祉施設等での往診やオンライン服薬指導等で患者さん本人が処方箋を薬局に持参できない場合も、薬局職員の紙処方箋受け取りの手間を削減できる。
- 感染症の流行等で外出を控える場合や、災害で遠方の医療機関からオンライン診療が行われた後、近くの薬局で調剤を受ける場合でも便利。



薬剤師  
中森 慶滋さん

高齢者施設等に入居する患者について医師との情報共有や、薬局の業務効率化にも繋がります。